



令和元年度 第9回 大阪市中央区地域ケア研究集会

あなたは介護が必要になったら どこで誰と暮らしたい

これまでこの会は、小児から看取りまで在宅療養に関わる事例発表・講演を多職種連携研修として開催してきました。9回目となる今年度は、多様になった施設のことを在宅支援としての活用も含め学び、これからの支援のあり方を、医療・介護職が地域住民のみなさんと一緒に考えます。

日時：令和元年12月7日(土)12時30分～17時30分

場所：中央区民センター（中央区久太郎町1-2-27）

参加対象：中央区において医療・介護・福祉の従事者・地域活動されている住民の方

参加費：無料（ランチョンセミナー・懇親会を除く）

～プログラム～

12時 ランチョンセミナー 受付開始

12時30分 ランチョンセミナー

在宅で食事が取れなくなり施設入所を考える場合があります。なぜ食べられなくなったのかの評価や食欲を上げる工夫について学びます。また薬が食欲に与える影響について、薬剤師さんからお聞きします。

「食べられないのは？ ～その原因をさぐる～」

講師 特定非営利活動法人ケアプランニングNEST 為房 恭子氏・遠 妙美氏

「食欲と薬」

講師 中央区東薬剤師会 江島 裕子氏

13時30分 全体会 受付開始

14時 開会挨拶

中央区南医師会 安田 光隆 会長
大阪市中央区 吉村 浩 区長

14時10分 講演

「^{すみか}これからの棲家 ～在宅・施設・多様な住まいについて～」

講師：ライフマーク住まいサポート事業部 濱崎 勲氏

14時40分 リレートーク「どこで暮らす、どう支援する」進行：中央区南医師会 金 永進氏
中央区の施設等からはその現状と課題・事例を、当事者の方からは今後の生活についてどのように支援されたいかをお話ししていただきます。

「地域におけるグループホームの役割と今後の課題」 ニッケとて本町管理者 亀谷 真人氏

「要介護者のお困りごとの拠点、特別養護老人ホーム」 特別養護老人ホームさくら生活相談員 東 陽介氏

「生活リハビリで在宅復帰へ 老人保健施設」 おとしより健康センター 支援相談員 鶴園 佳子氏

「心原性脳塞栓症からリハビリ・在宅・就労復帰をチームケアでつなぐ」

在宅医療介護連携相談支援室コーディネーター 榮木 教子氏

「サポートを受けて働き暮らす～自分らしい生活を送る～」

認知症当事者 赤嶺 信夫氏

15時45分 ワールドカフェ

進行：大阪市中央区東薬剤師会 藤井義博会長・訪問看護ももの会 久保美穂子氏

参加者が、認知症の方等への支援や住まいかた・アイデアについて意見交換します。

17時30分 講評および閉会挨拶

中央区東医師会 前久保 邦昭 会長

18時 合同懇親会

主催 大阪市中央区南医師会 大阪市中央区東医師会
共催 大阪市南歯科医師会 大阪市東歯科医師会 中央区南薬剤師会 中央区東薬剤師会
中央区居宅介護支援事業者連絡会 中央区訪問看護事業者連絡会 中央区訪問介護事業者連絡会
中央区通所介護事業者連絡会 C o C o ネットちゅうおう（中央区認知症高齢者支援ネットワーク）
大阪市中央区在宅医療・介護連携相談支援室
中央区地域包括支援センター 中央区北部地域包括支援センター
後援 中央区役所 中央区保健福祉センター 中央区社会福祉協議会

